

MSC Recoder / Player

Midi設定マニュアル

注意事項

1. 本アプリはMidi Show Control (以降MSC)のGeneralLight信号をリアルタイム受信して動画に焼き込む、または添付するのを主としたIOS向けのアプリケーションです。

2. 信号を受信する為にはMSCをネットワーク上に発する事が可能なコンソール等が必要です。また、コンソールからIOS機器への接続ケーブルも必要になります。

※通信にWifiを使用することは可能ですが、電波環境の問題により受信に問題が出るが多々ありますので、ご承知おき下さい。

3. 本アプリの機能以外でのトラブルに関してはご対応致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

MSC設定

Recorderではメニュー画面の一番下にMSC設定があります。

Playerでは、再生操作フロートの一番右側にあります。

☐ MSC受信モードは2つありますが現状ではMSCモードでご使用ください。

ネットワークの接続方法は有線、Wifiが選択できますが、Wifiは電波状況、ネットワーク環境に影響を受けやすく、信号をロストする危険が高まりますので推奨致しません。基本的には有線接続を推奨致します。

☐ UDP Portはデフォルトでは**6004**が設定されています。

こちらは送信元のコンソールに合わせて変更することが可能です。

☐ Device ID

Device IDを送信元と送信先で合わせることで他で使用されるMSC信号と用途を分けることができます。アプリ側はデフォルトでは”All”状態になっています。

必要があれば、送信元に合わせて設定して下さい。

☐ IP表示

現在、iOS機器が所持しているIPアドレスが確認できます。

Wifi、モバイルデータ、有線と3回線繋がっていれば3つのIPアドレスが表示されるはずです。

タップすることにより表示の切替が可能です。IPの表示切替はMSCの信号受信には関係ありません。機器がネットワークに繋がっていれば自動的に受信されます。

逆に切り替えても、目的のIPが表示されない場合は設定がうまくいっていない可能性があります。

☆Repeater

Repeaterモードは重複するMSC信号をカットし、MSCのCue番号が変わった事を判断して、表示を切り替えます。Portは6100に固定されています。詳しくは、下記をお読みください。

※現状、MSCのUDP送信はWifi環境下では信号を取り落とす危険が非常に高いです。これは、UDP信号が送信時の一瞬しかネットワークに留まらないからです。

MSC Repeaterは受信したMSC信号を別Portに変換して常時送信し続ける為の機器です。この機器をルーター等のネットワーク間に差し込むことで、現在のCue番号をネットワーク上に送信し続けることが出来、アプリが一度信号取り落としたとしても、すぐ次の信号を拾って復帰できます。Wifi環境下での使用を強く望まれる方はご検討ください。

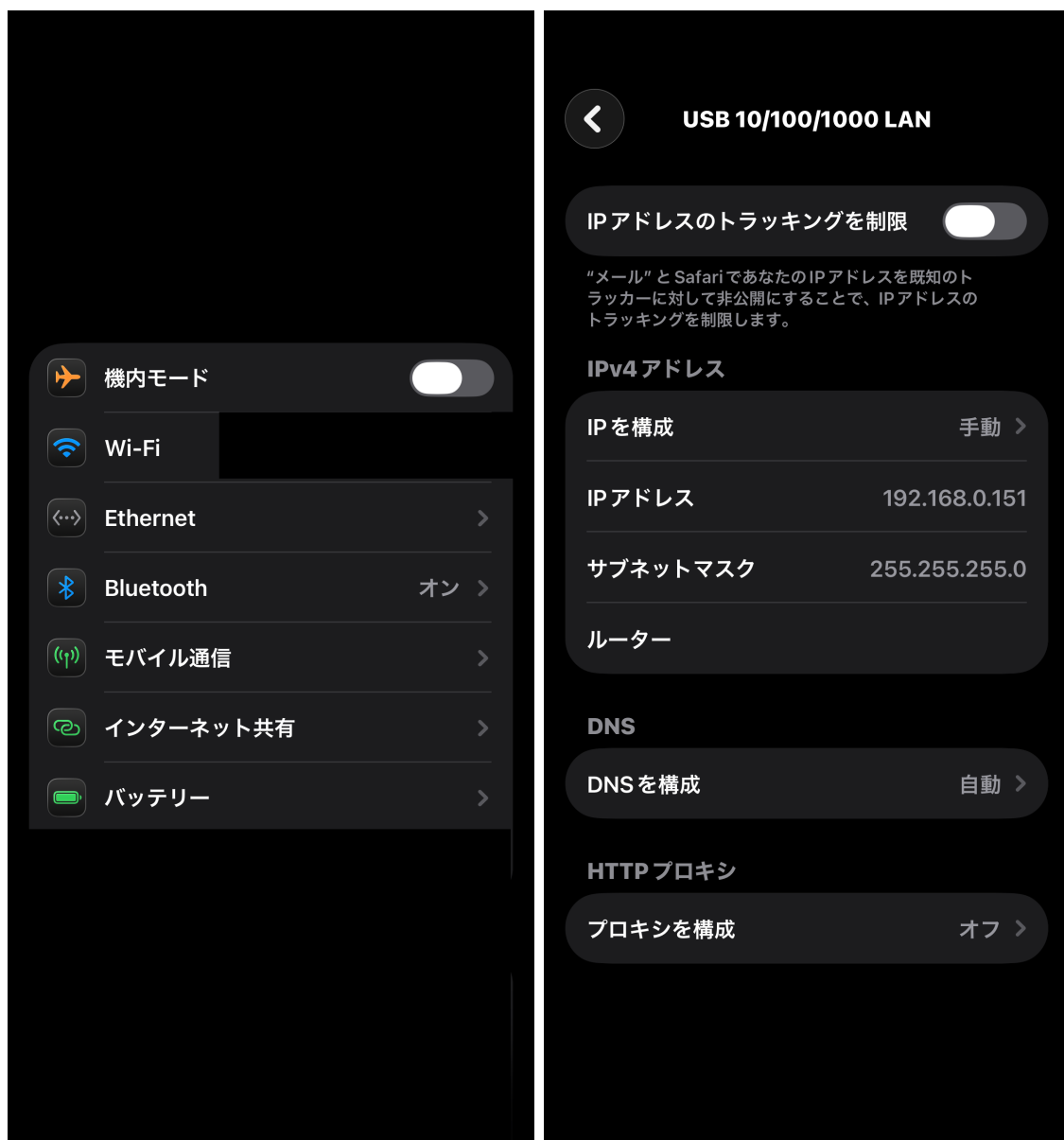
MSC Repeaterは弊社で受注生産が可能です。外部PCを繋ぎMidi編集ソフトを使用することにて代用することもできます。

ios設定例

接続コンソールにより入力される数字は変更されますが、設定方法として、一例をご紹介します。

下記はiPhoneのios26.5の設定アプリ内の画像です。
iphoneにLANケーブルを接続すると、左写真のようにイーサネットの設定画面がでてくるようになります。
設定に潜ると接続されているUSB変換機器の名称が出るので、更に潜ると右側の画面になるはず

Ip構成は手動で、IpアドレスはMSC送信元の機器と同じグループに入るように設定して下さい。サブネットは送信元の設定および、ネットワークスイッチの設定に依存しています。



GMA2のMidi設定

使用環境により入力される数字は変更されますが、
設定方法として、一例をご紹介します。

下の写真はGMA2のONPC 3.9.61.5のSetup内のMidi設定画面となります。

MidiのOutは下側の設定欄になります。

☐ MSC out Device…Device設定です。

同じネットワーク内で別用途としてMSCが使用される場合(劇場卓とのリンク等)は変更が必要ですが、基本は1で問題ありません。

☐ MSC out Group…Group設定です。

本アプリではGroup設定は使用していないので設定の必要はありません。

☐ MSC out Port…MSCの出力ポート設定です。

本アプリではデフォルト6004を設定しています。卓側で変更した場合は、アプリ側も変更して下さい。

☐ MSC out Mode…出力モードの設定です。

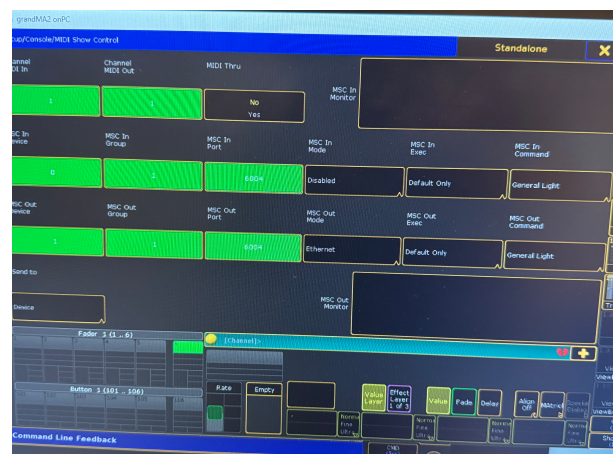
「Ethernet」を選択して下さい。

☐ MSC out Exec…出力エグゼキューターの設定です。

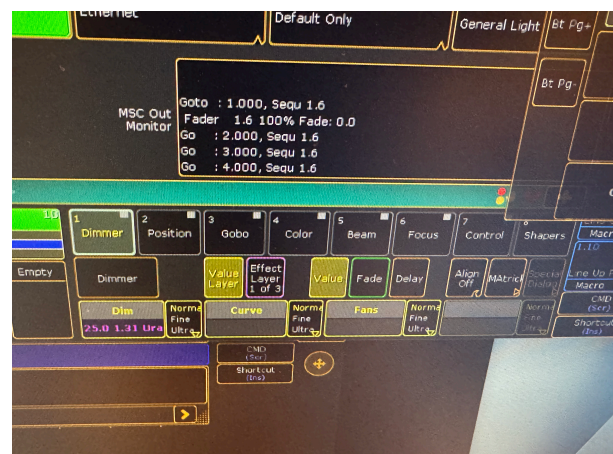
「Default Only」を選択して下さい。

☐ MSC out Command…出力コマンドの設定です。

「General Light」を選択して下さい。



※設定が出来ていれば、右下のモニターに
出力状況が表示されます。



GMA2のIP設定

GMA2のIPはSetup右上の「MA Network Control」にて確認できます。
再設定後はソフトウェアの再起動が必要になるのでご注意ください。

On PCの場合はPC側のIP設定も必要になります。

Midi信号を発信するだけであればセッションは必要ありません。

